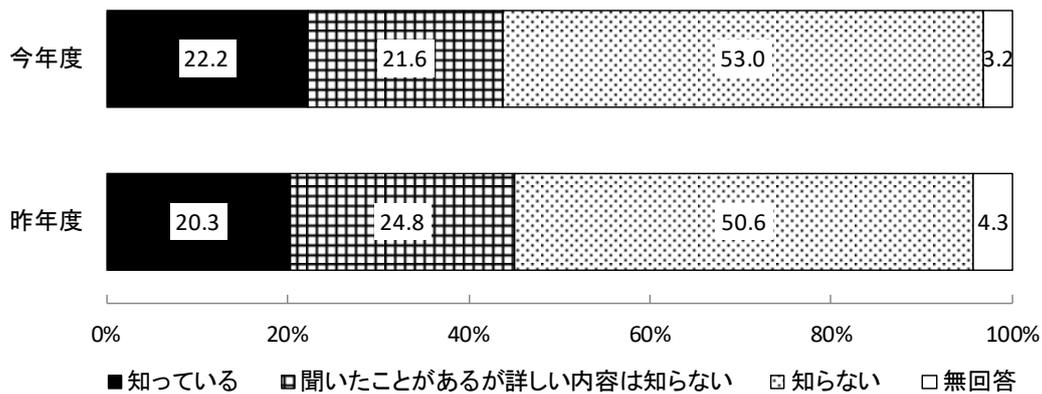


19. 「やまぐち森林づくり県民税」について

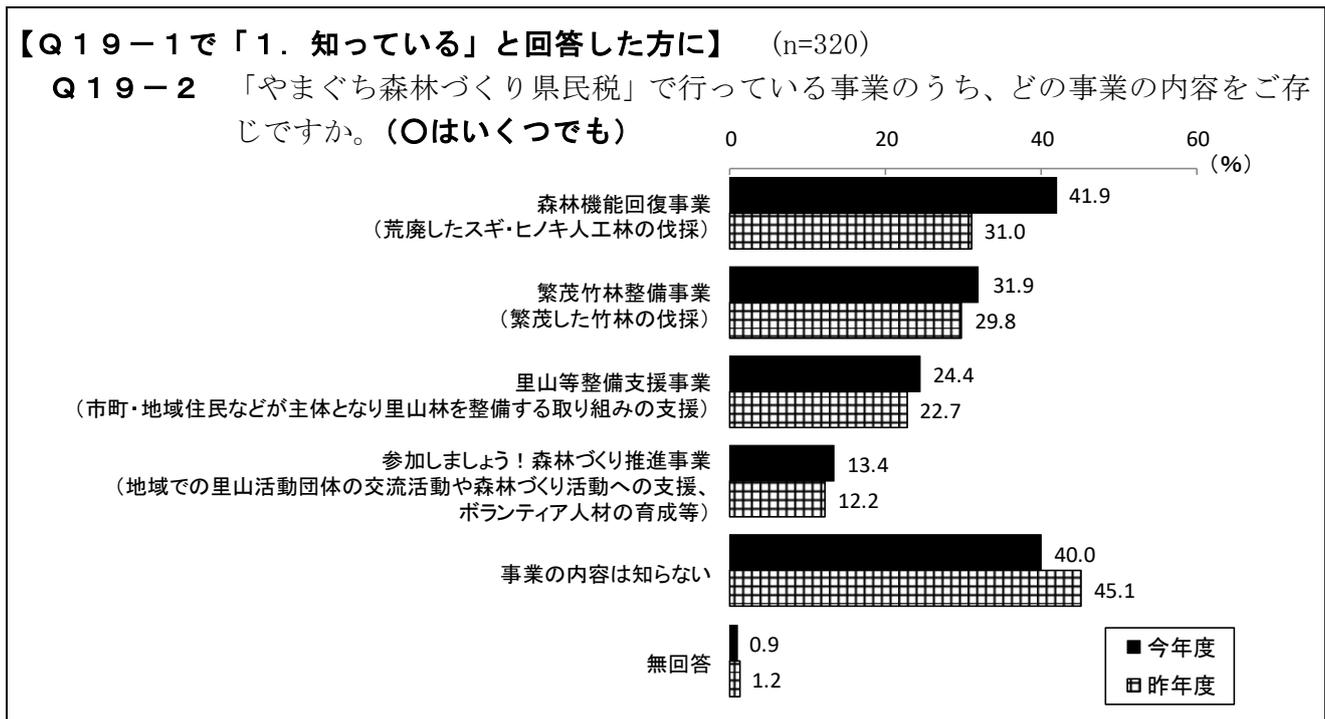
19-1. 「やまぐち森林づくり県民税」の認知状況

Q19 山口県では、荒廃した森林の再生を図るため、平成17年度から「やまぐち森林づくり県民税」を導入しました。あなたは、この「やまぐち森林づくり県民税」をご存じですか。(〇は1つ)



「やまぐち森林づくり県民税」の認知状況について、「知っている」が22.2%、「聞いたことがあるが詳しい内容は知らない」が21.6%、「知らない」が53.0%となっている。昨年度と比較すると、「知っている」が1.9ポイント、「知らない」が2.4ポイントそれぞれ上昇し、「聞いたことがあるが詳しい内容は知らない」が3.2ポイント低下している。

19-2. 「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業の内容



※選択肢「里山等整備支援事業（市町・地域住民などが主体となり里山林を整備する取り組みの支援）」は昨年度の「地域が育む豊かな森林づくり推進事業（市町等が独自に取り組む多様な森林整備への支援）」より変更しました。

※選択肢「参加しましょう！森林づくり推進事業（地域での里山活動団体の交流活動や森林づくり活動への支援、ボランティア人材の育成等）」は昨年度の「森林環境活動サポート事業（ボランティア団体等への支援）」より変更しました。

Q19-1で「やまぐち森林づくり県民税」を「知っている」と回答された方に、「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業のうち、知っている内容について質問すると、「森林機能回復事業（荒廃したスギ・ヒノキ人工林の伐採）」が41.9%と最も高く、次いで「繁茂竹林整備事業（繁茂した竹林の伐採）」が31.9%、「里山等整備支援事業（市町・地域住民などが主体となり里山林を整備する取り組みの支援）」が24.4%、「参加しましょう！森林づくり推進事業（地域での里山活動団体の交流活動や森林づくり活動への支援、ボランティア人材の育成等）」が13.4%の順となっている。昨年度と比較すると、「森林機能回復事業（荒廃したスギ・ヒノキ人工林の伐採）」が10.9ポイント、「繁茂竹林整備事業（繁茂した竹林の伐採）」が2.1ポイントそれぞれ上昇している。また、「事業の内容は知らない」は40.0%となっており、昨年度より5.1ポイント低下している。